

ASABA

エンジン式アルミ除草エース EP-20WAD1

取扱説明書

目次

1 安全のために必ずお守りください.....1	7 作業.....13
作業前	7-1:作業の前に
農薬・薬液の取り扱い	7-2:作業開始
作業中	8 整備と長期保管.....15
作業後と保管	9 故障と対策.....17
2 梱包部品一覧.....3	9-1:ポンプ
3 製品に貼付されたラベルとその取り扱い.....3	9-2:エンジン始動不能、または始動困難
4 各部の名称.....4	9-3:エンジンの回転不調、または出力不足
5 仕様.....4	9-4:エンジン運転中に停止する
6 作業を始める前に.....6	9-5:エンジン停止が困難
6-1:部品の取り付け	
6-2:後輪幅の調整	
6-3:噴口の調整	
6-4:サイドカバーの調整	
6-5:薬液の調合、充填	
6-6:燃料の充填	
6-7:ボールコックの取り扱い	
6-8:排気方向の調整	

⚠ 危険・警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守られなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。



本社/〒381-8530 長野市北長池1443-2
TEL: 026-244-1317
URL: <https://www.asaba-mfg.com>

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚損したり紛失した場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、大切に保管してください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり、必ずお守りください。また、 の表示のあるラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、必ず所定の位置にお貼りください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルでは、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、次のように3段階に分けて表示しています。

 危険	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになります。
 警告	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
 注意	●その警告文に従わなかった場合、けがを負う恐れがあります。

尚、製品の故障や損傷につながる使い方に関する注意事項については、取扱説明書、機械に貼られたラベルともに、**重要** の表示を用いています。

本書に記載した図記号は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止（してはいけない）内容	 指示（必ず実行する）内容
---	--

1 安全のために必ずお守りください

★作業前

 危険	 ●火災の恐れがありますので、燃料補給時は次の事項を必ず守ってください。
	 ●燃料は、エンジンを止めた状態で補給してください。
	 ●燃料補給時は、火気に充分注意してください。
	 ●高温部に燃料がかからないように補給してください。
	 ●燃料タンクの給油口一杯まで燃料を入れしないでください。
	 ●燃料がこぼれたらきれいにふき取ってください。
	 ●燃料補給後、燃料キャップは確実に閉めてください。
	 ●燃料、薬液を充填後、本機を傾けると燃料、薬液が漏れる恐れがあります。本機は必要以上に傾けたり、落下させないでください。
	 ●燃料、薬液を充填後、自動車で運搬する場合は、燃料、薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運転する場合は、必ず燃料、薬液を抜いてください。
	 ●燃料、薬液がこぼれたり、本機が転倒する恐れがありますので、本機は凹凸のない平らな場所に設置してください。

 警告	 ●アルミ合金は電気を通します。感電事故に注意してください
--	--

 注意	 ●次に該当する方は、この製品を使用しないでください。 ◎酒気をおびた者 ◎過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者 ◎妊娠中の者 ◎満15歳未満の者 ◎負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者
	 ●作業前に燃料に漏れがないこと、接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等各部に異常がないことを確認してください。
	 ●安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
	 ●この製品を他人に貸与、または、譲渡する場合は、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するように指導してください。

★農薬・薬液の取り扱い

 注意	 ●防除、除草用の農薬・農薬製品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
	 ●やけど、火災の恐れがありますので、強酸性の薬品・塗料・シンナー・ガソリン・灯油・ベンジン等は、絶対に使用しないでください。
	 ●調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがあります。薬液調合の際は、薬液の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
	 ●農薬は、必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
	 ●農薬は、誤使用、誤飲の危険がありますので、絶対に別の容器に移し替えないでください。
	 ●農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は、薬害のない方法で処分してください。

★作業中

 警告	 ●薬品の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
	 ●ハウス内での使用は人体に悪影響を及ぼす恐れがありますので、よく換気をしてください。
	 ●運転中および、停止直後のエンジン（マフラ等）は高温になっています。やけどをする恐れがありますので、不用意に触れないでください。

 注意	 ●水道、河川、水源地、池、沼、下水道などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
	 ●作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
	 ●薬液を入れた状態で薬液タンクや車体を傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液が出る場合があります。薬液タンクや車体は傾けたり、落下させないでください。
	 ●作業中に噴口部を清掃または、交換する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、ボールコックを閉じ、必ず調圧弁ダイヤルを『始動：0』の位置に合わせて、噴口部を取り外してから行ってください。
	 ●ホース類は、エンジン高温部（マフラ等）に触れないで、無理な曲げ、よじれ、折れ引っ張りがないよう注意して作業を行ってください。
	 ●ホースの温度は、40℃以下で使用してください。40℃以上になりますと、耐圧性能が低下します。



注意

- 作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。
- 余った薬液及び、機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水道に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- 前回使用した薬液が、薬液タンク、ホース、動噴、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を十分に洗い流してください。
- 使用後は本機を充分清掃し、風雨や直射日光に当たらない、風通しの良い、凍結しない、子供の手の届かない、平坦な場所で保管してください。
- エンジンを止めても、ポンプ～ホースに圧力が残っていることがあります。この状態で接続部を取り外すと、薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、ボールコックを開いて、ポンプ～ホース側の圧力を抜いてください。

2 梱包部品一覧

最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もしも、欠品や破損などありましたら、製品名・型式・製造番号と共にお買い上げの販売店にお知らせください。

製品名：エンジン式アルミ除草エース			型式：EP-20WAD1		
品 名	数 量	備 考	品 名	数 量	備 考
本体部一式	1		吊り下げZノズル動力用 2頭口	1	
スーパー25 動力用ノズルチップ	2	青	ノズルパイプ	1	
吐出ホース	1		エルボ	1	
サイドカバー	2		ハンドル	1	
前輪	1		前輪シャフト	1	
後輪	2		カラー（後輪用）	2	
ナベ小ネジM8x25	2		トラスネジM8x75	2	
六角ボルト組込M8x25	4		平座金8.5x25	6	
平座金8.5x18	6		パネ平座金 8	4	
ナット M8	6		取扱説明書	1	本 書
保証書	1	本 書 末 頁			

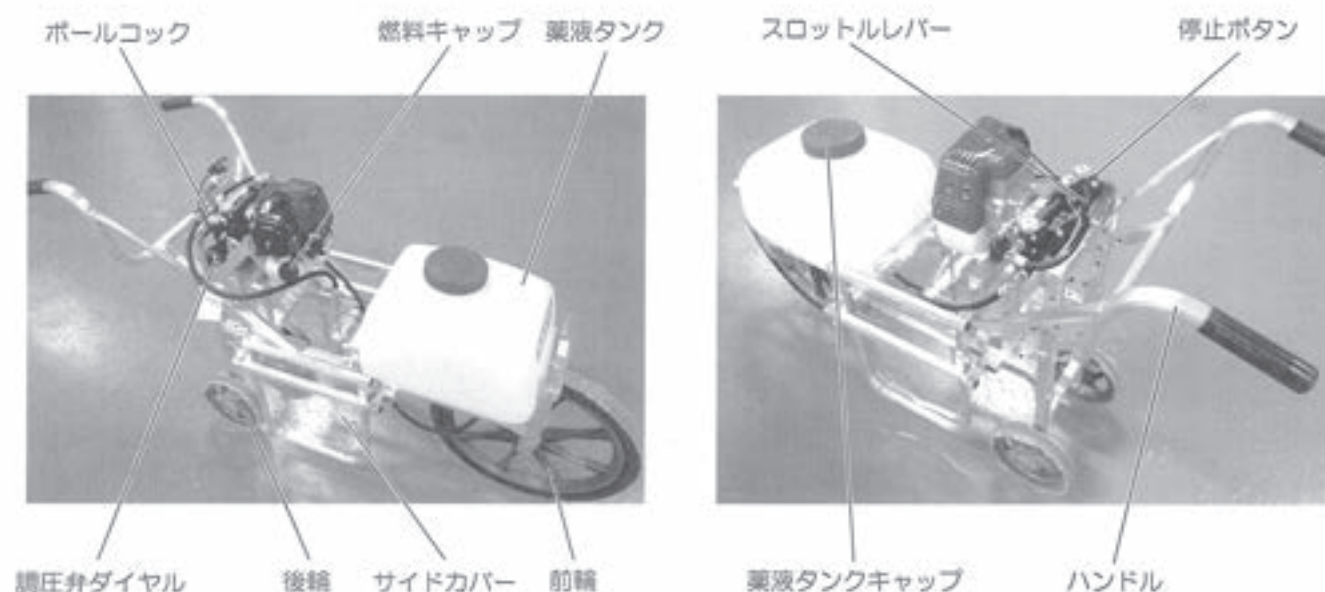
※保証書はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

3 製品に貼付されたラベルとその取り扱い

- ラベル部はいつもきれいにし、傷つけないようにしてください。
- ラベルが汚損したり、はがれた場合は、お買い上げの販売店にラベル品番とともに注文し、新しいラベルに貼り替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、汚れをふき取り、乾いた面にして、元の位置に貼ってください。



4 各部の名称



5 仕様

本体寸法	全 長	1300 ~ 1410mm (ハンドル高さ調整による)
	全 高	830 ~ 950mm (ハンドル高さ調整による)
	全 幅	510mm (サイドカバー無し)
質 量		16kg
タンク容量		20ℓ
ポンプ	形 式	対向2連プランジャ式ポンプ
	吸 水 量	7.0ℓ/min (1740rpm 圧力: 0MPa時)
	最高圧力	2.5MPa
エンジン	燃料タンク容量	0.65ℓ
	使用燃料	混合ガソリン (混合比25:1 JASO FC級) (混合比50:1 JASO FD級)
	エンジン型式	ASABA D26C 空冷2サイクル
	エンジン排気量	25.6cc
	キャブレタ	ダイヤフラム式 ロータリバルブ
	最高出力	0.74kW (1.0PS) / 7500rpm
	点火方式	フライホイールマグネット
	スパープラグ	チャンピオン CJ6Y (NGK BPM7A 相当品)
	始動方式	アシスト式リコイルスタータ
用 途		除草を目的とした一般農薬及び常温清水の散布

※1) 上記の性能値はテスト値であり、保証値ではありません。使用環境により、その値は変化します。

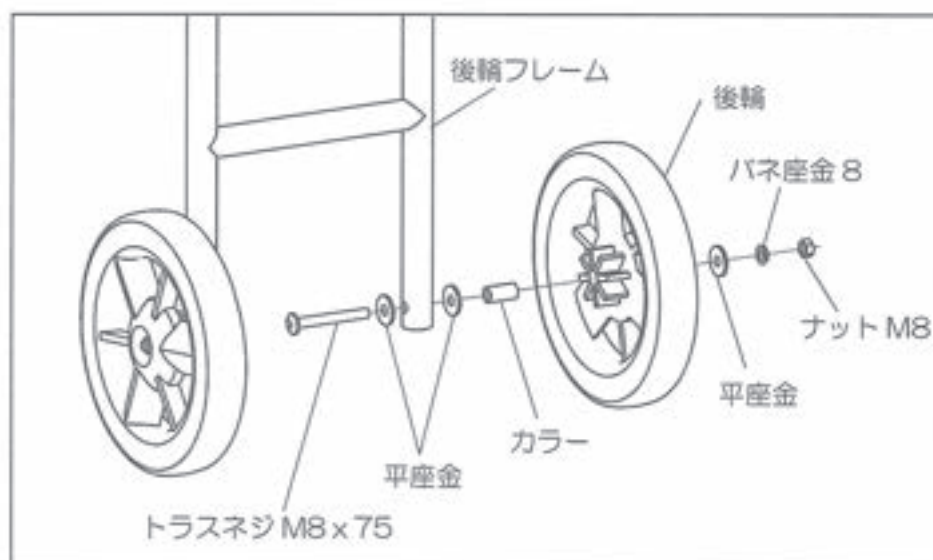
※2) 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

6 作業を始める前に

6-1: 部品の取り付け

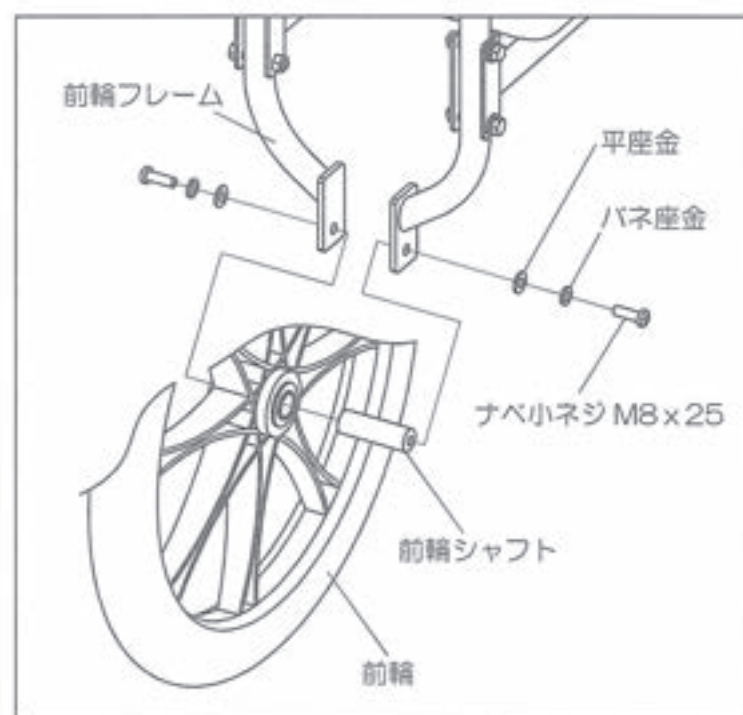
(1) 後輪取付

- ①トラスネジに平座金を通し、後輪フレームの内側から通し、平座金、カラーを通します。
- ②後輪をカラーに通し、平座金、バネ座金、を通し、ナットで固定します。



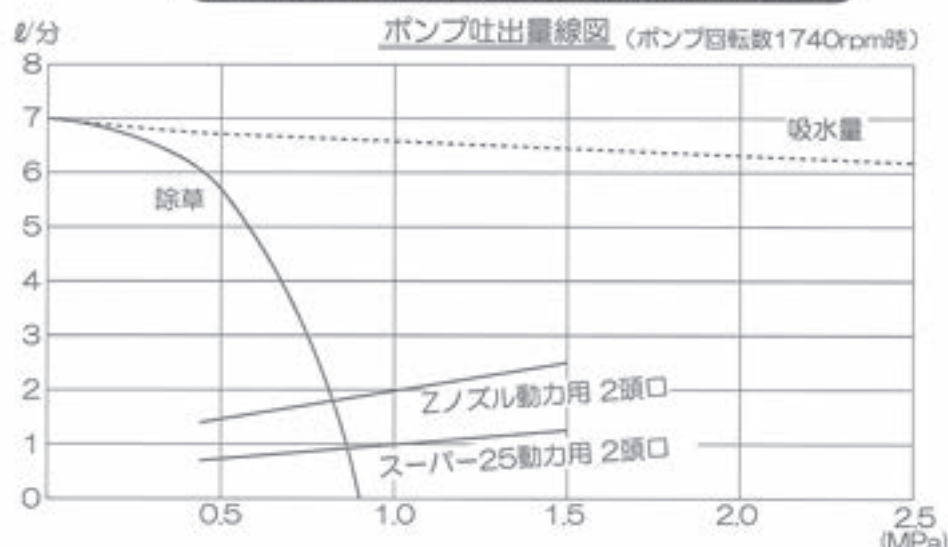
(2) 前輪取付

- ①前輪に前輪シャフトを通し、前輪フレームの間に挟み、シャフトのネジ穴と前輪フレームのネジ穴を合わせます。
- ②ナベ小ネジにバネ座金、平座金を通し、前輪シャフトとネジ締めします。
- ③反対側も②同様にネジ締めします。



噴 口	吊り下げZノズル 2頭口	スーパー25動力用 2頭口
吐 出 量	1.8ℓ/min	0.9ℓ/min
散 布 幅	～800mm (サイドカバー有り) ～1200mm (サイドカバー無し)	～800mm (サイドカバー有り) ～1200mm (サイドカバー無し)
歩 行 速 度 (100ℓ/10a)	1.4km/h (23m/min) (散布幅800mm)	0.7km/h (11m/min) (散布幅800mm)
歩 行 速 度 (50ℓ/10a)	2.7km/h (45m/min) (散布幅800mm)	1.4km/h (23m/min) (散布幅800mm)
歩 行 速 度 (25ℓ/10a)	5.4km/h (90m/min) (散布幅800mm)	2.7km/h (45m/min) (散布幅800mm)

<ポンプ及びノズル性能表>



本機には2種類のノズルチップを標準付属としています。下記を参照して用途にあったノズルチップを選定します。

① Zノズル動力用 ノズルチップ(赤)

多量散布除草剤（バスタ[®]、サクサ[®]、ブリグロックス[®]L等）専用噴口です。

噴口に標準に組付いています。

吐出量：約1.0ℓ/min（1.0MPa時、1頭口あたり）

② スーパー25 動力用 ノズルチップ(青)

少量散布除草剤（ラウンドアップ[®]、タッチダウンIQ[®]、サンフーロン[®]等）専用噴口です。

吐出量：約0.5ℓ/min（1.0MPa時、1頭口あたり）

※上記の値は、本機使用時の当社テスト値であり保証値ではありません。吐出量は使用環境により変化します。

※「スーパー25 動力用」のご使用には、噴口に標準で取り付いている「Zノズル 動力用 ノズルチップ」を外して、付け替える必要があります。（ノズルチップの付け替えはP.8「ノズルチップの付け替え」を参照してください。）

重要

●付属の噴口で作業を行う場合は、必ず調圧弁ダイヤルを「除草」にして散布作業を行ってください。

(3) ハンドル取付

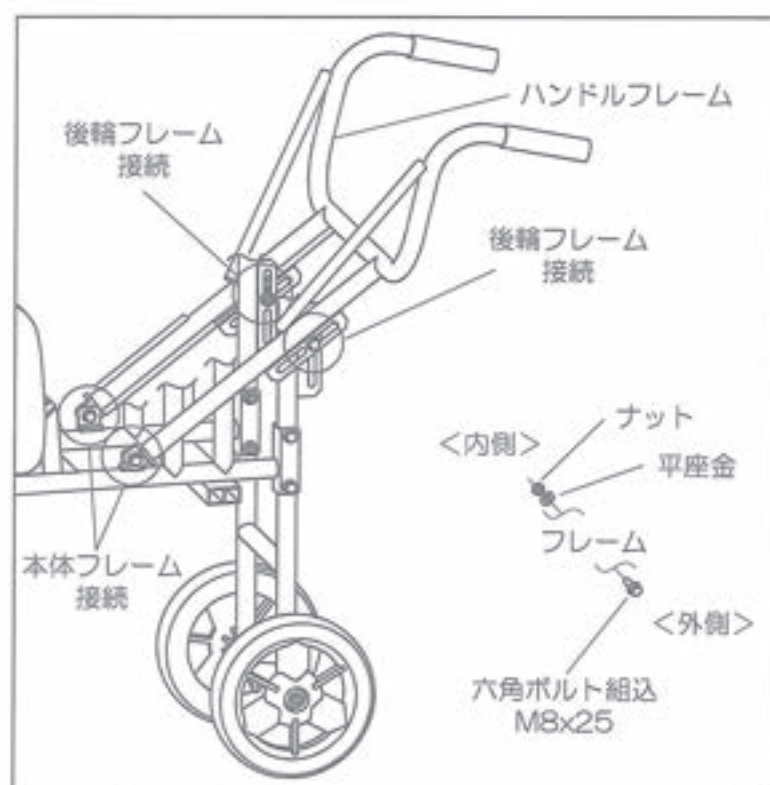
①ハンドルフレームと本体フレームに組込ネジを外側から通し、平座金、ナットを通し取付ます。

【図1】

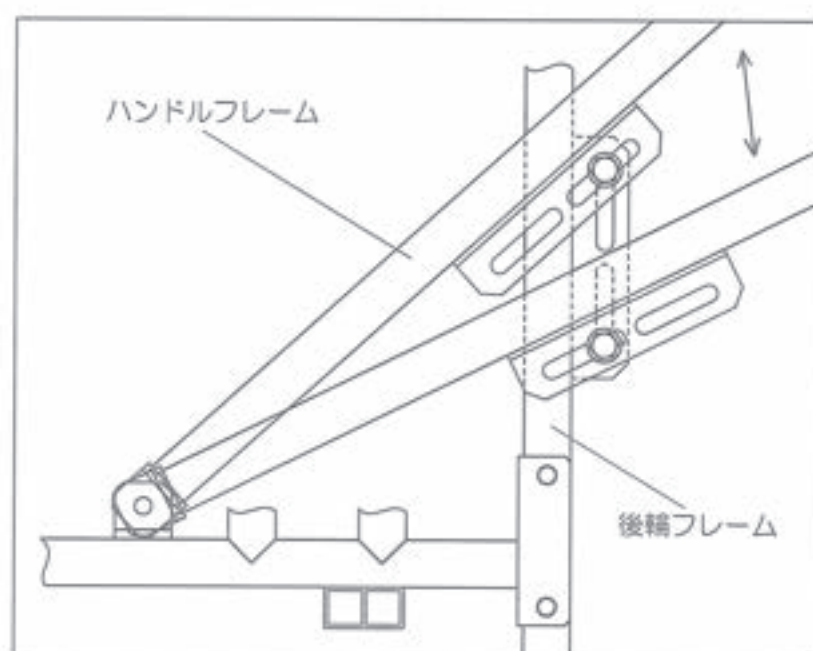
②ハンドルフレームと後輪フレームを組込ネジを外側から通し、平座金、ナットを通し取付ます。

ハンドルフレームの上下長穴と後輪フレームの上下長穴の組合せでハンドルの高さをお好みに合わせ、取付ます。

【図1、2】



【図1】



【図2】

(4) ノズルチップの付け替え（作業に合わせたノズルの選定）

噴口には「Zノズル動力用 ノズルチップ（赤）」（多量散布用）が2個標準で組付いています。
 その他に「スーパー 25 動力用 ノズルチップ（青）」を2個付属していますので、少量散布を行いたい場合は、下図のように噴口からノズルキャップを外して、ノズルチップを付け替えて使用します。
 （各種ノズルの性能は、P.5《ポンプ及びノズル性能表》を参照します。）



(5) 噴口の取り付け

①付属の噴口とノズルパイプ、エルボと吐出ホースを組み合わせます。



②下図のように本機と金具の間にノズルパイプ部を挟み込んで、蝶ボルト2本を締め込んで固定します。

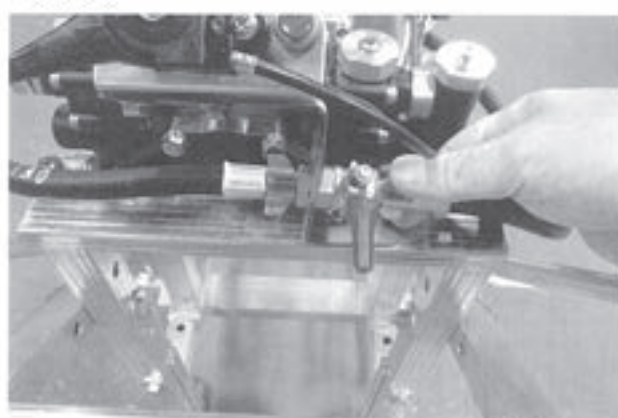


※噴口の向きは本機と平行となるように注意します。

③吐出ホースがエンジンに当たらない方向に向け、エルボとノズルパイプのナットを接続します。

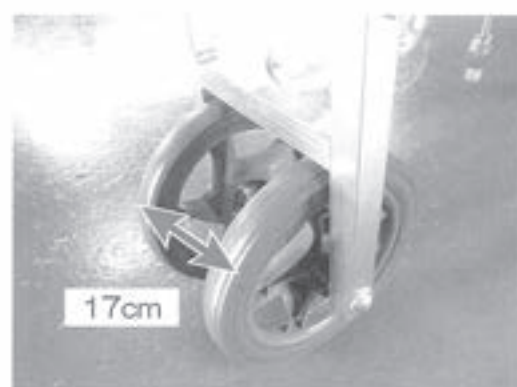


④吐出ホースのメネジを本機のボールコックに接続します。



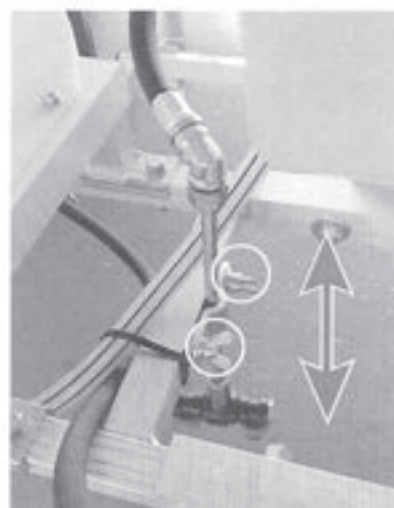
6-2：後輪幅の調整

後輪を取り付けているネジ類を外して、後輪を取り外し、フレームの内側に付けると、後輪同士の幅が狭まります。狭い範囲で作業するのに適しています。



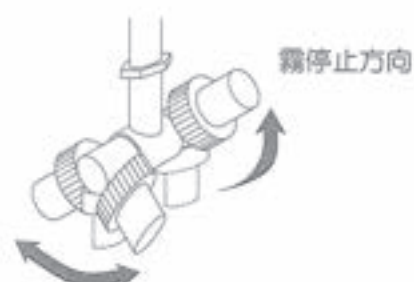
6-3：噴口の調整

右図の2箇所の蝶ボルトを緩めると噴口の高さを変えることができます。
お好みの散布幅に調整した後、再度蝶ボルトを締め込みます。



また、噴口部からの吐出方向は、噴頭を回すことにより調整することができます。
手で噴頭の方をお好みで調整してください。

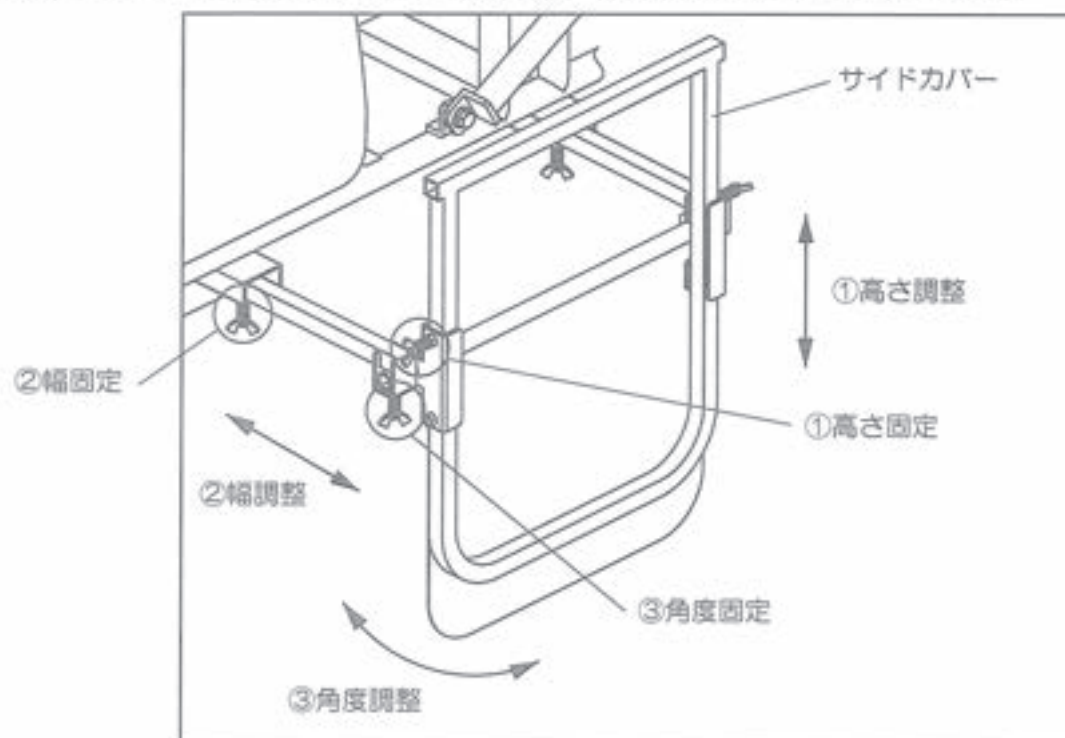
噴頭を上に向けると、停止状態となり、ノズルチップから吐出しなくなります。



6-4：サイドカバーの調整

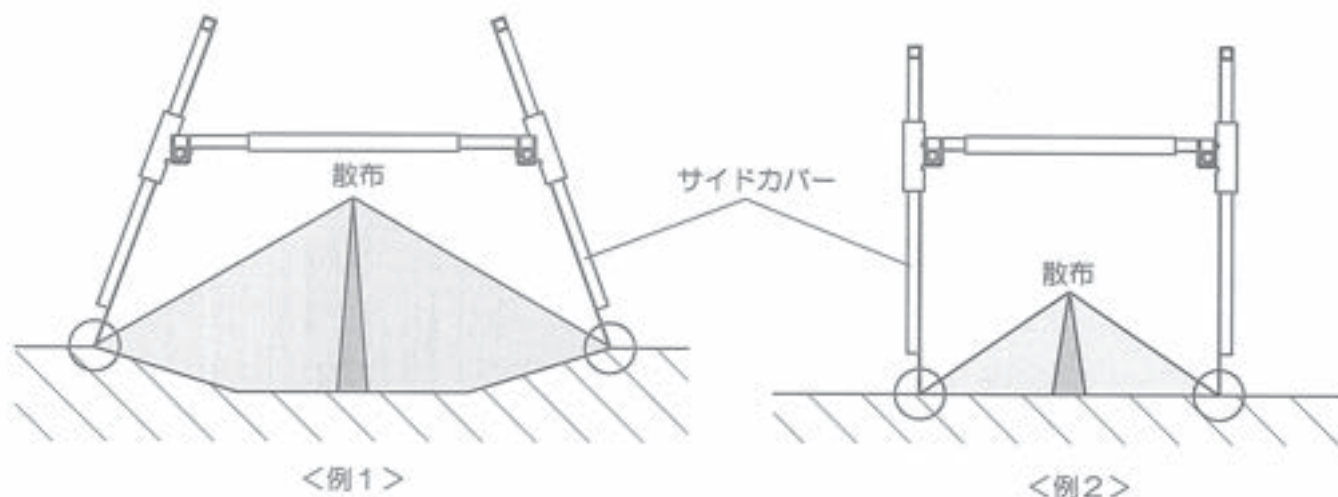
(1) サイドカバー調整

付属のサイドカバーを本機両側のコの字部に差し込みます。
サイドカバーをお好みの①高さ、②幅、③角度に調整した後、再度両側の蝶ボルトを締め込みます。
※サイドカバーを差し込む向きは、透明のカバーが内側を向くように差し込みます。



(2) サイドカバーと散布幅の調整目安

- ① 欲幅に合わせ、サイドカバーの幅調整を行います。
- ② ノズルの高さと噴霧方向を調節し、サイドカバーに薬液があまりかからない様に、サイドカバー下端内側を目安に散布幅を調整してください。



注意



●作業前に各ネジ部にゆるみがないこと、接続部のパッキン、Oリングの脱落がないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認してください。



●安全性を損なう恐れがありますので、付属ホースは他の用途（コンプレッサでの使用等）には使用しないでください。



●破損の恐れがありますので、ホースを無理にねじったり、引っ張ったり、曲げたりしないでください。

6-5: 薬液の調合、充填

- 1) エンジンが停止している状態で、調合した薬液を薬液タンクに充填します。
薬液タンクには、薬液が20ℓ入ります。
- 2) 薬液は、他の容器で調合してください。やむをえず薬液タンク内で調合する場合は、必ず最初に水を所要量の半分ほど入れてから農薬を入れ、残りの水を入れて希釈してください。

 注意	 ●防除・除草用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
	 ●強酸性の薬品・塗料・シンナー等は絶対に使用しないでください。
	 ●薬液の調合の際は、必ず薬品メーカーの指示に従ってください。調合が適切でない農薬は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になることがあります。
	 ●薬液を入れ終わったら、タンクキャップをしっかりと締め付けてください。
	 ●薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。
	 ●薬液を入れる前に、必ずエンジンは停止させ、レバーコックは必ず閉じた状態にしてから薬液を入れてください。

重要

- 薬液を薬液タンクに入れる際は、別の容器でよく攪拌して、必ず付属のストレーナ（コシ網）を通して入れてください。（薬液に異物やゴミが混ざっていると、故障の原因になります。）
- 土壌消毒剤、土壌蒸着剤は、故障の原因になりますので、使用しないでください。

6-6: 燃料の充填

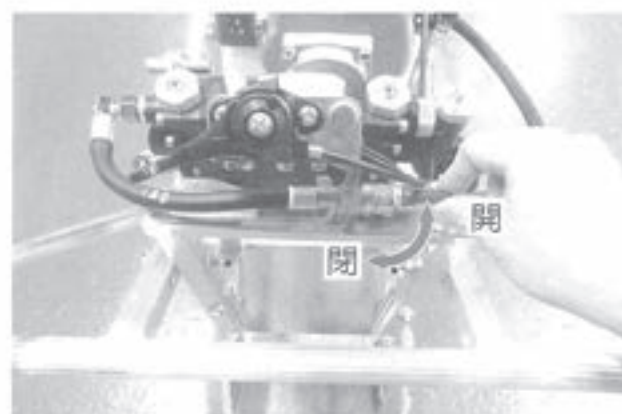
 危険	 ●火災の恐れがありますので、燃料補給時は次の事項を必ず守ってください。
	 ●燃料は、エンジンを止めた状態で補給してください。
	 ●燃料補給時は、火気に充分注意してください。
	 ●高温部に燃料がかからないように補給してください。
	 ●燃料タンクの給油口一杯まで燃料を入れないでください。
	 ●燃料がこぼれたらきれいにふき取ってください。
	 ●燃料補給後、燃料キャップは確実に閉めてください。
	 ●燃料を充填後、本機を傾けると燃料が漏れる恐れがあります。本機は必要以上に傾けたり、落下させないでください。
	 ●燃料を充填後、自動車で運搬する場合は、燃料が漏れる可能性があります。自動車などで運転する場合は、必ず燃料を抜いてください。

重要

- 燃料は、必ず潤滑油混合ガソリンを使用してください。
- エンジンの性能を十分に引き出すため、使い初めの20時間前後は、オイルを多めに入れて（ガソリン：FC等級オイル=20：1）慣らし運転を行ってください。
- 燃料の混合は、本機の燃料タンクで行わず、必ず別容器を用いてください。
- 2サイクルエンジン専用オイルは必ずFC等級（JASO）以上をご使用ください。

6-7：ボールコックの取り扱い

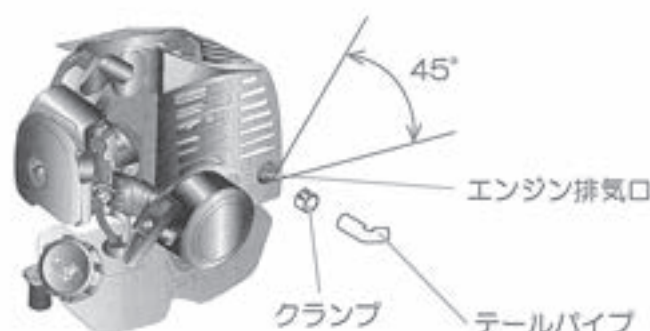
レバーの向きにより、開閉を行います。



6-8：排気方向の調整

本機はエンジンからの排気を製品本体や人体に向かないよう、エンジンの排気口にテールパイプを設けています。

「作業中にサイドカバーまたは作物に排気がかかってしまう」等の理由により、排気方向を変えたい場合は、テールパイプの向きを変えることができます。



◎排気方向の変更方法

テールパイプはエンジンの排気口に被せてあり、クランプによって固定されています。

クランプの羽根をラジオペンチなどで摘みながら、テールパイプをお好みの向きに変えます。



- 排気方向によっては製品または人体に影響を及ぼす可能性があります。調整は上記のようにタンク側からみて右側に水平な向き～約45° 上までを目安としてください。
- 水平より高い向きにテールパイプを向けた場合、雨などの水がエンジン内部に入りやすくなります。使用中や保管には、より一層注意してください。
- 水平の向きにテールパイプを向けて、サイドカバーの位置を高くした場合、排気がサイドカバーにかかってしまう場合があります。サイドカバーの高さ調整を行う場合は十分注意してください。
- 運転後にはテールパイプは熱くなります。運転後に排気方向を調整する場合、テールパイプが十分冷めたことを確認してください。

7 作業

7-1: 作業の前に



- 水道、河川、水源地、池、沼、下水道などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じたり気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 薬液を入れた状態で薬液タンクや車体を傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液が出ることがあります。薬液タンクや車体は傾けたり、落下させないでください。
- 作業中に噴口部を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ずボールコックを閉じ、噴口部を取り外してから行ってください。
- 噴口の交換を行う際は、必ずボールコックを閉じた状態にしてください。

重要

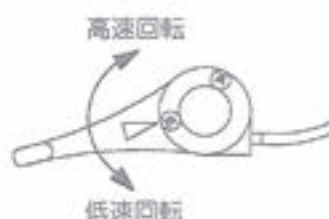
- 薬液タンクに薬液、あるいは清水が入っていることを確認してください。薬液タンクが空の状態ではポンプの運転を続けるとポンプが焼付くことがあります。
- 冬季等、気温が低い状態で使用した場合は、連続運転時間が短くなったり、性能が十分発揮されない場合があります。

7-2: 作業開始

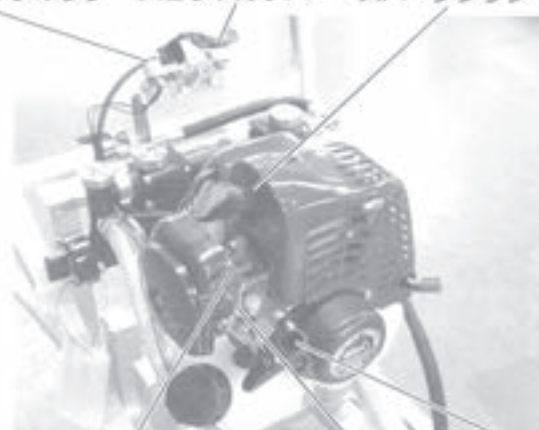


注意

- 噴霧作業以外の時は液漏れや、突然の噴霧防止のため、ボールコックは必ず閉じた状態にしてください。



エンジンストップボタン スロットルレバー スパークプラグ



チョークレバー プライマポンプ リコイルスタータ

(1) 始動（エンジンが冷えている場合）

- ①調圧弁ダイヤルを『始動：0』の位置に合わせます。
- ②スロットルレバーを、低速回転側（アイドル回転側）に合わせます。
- ③チョークレバーを『閉』の位置に合わせます。
- ④キャブレタのプライミングポンプを、指で4～5回押して、キャブレタに燃料を十分に送り込みます。
- ⑤本機が倒れないようにエンジンを手で押さえ、リコイルスタータを引っ張り、混合気をシリンダに送り込みます。改めて、リコイルスタータを引っ張るとエンジンは始動します。
※アシスト式リコイルの為、勢いよく引っ張る必要はありません。
- ⑥エンジンが始動したら、低速回転で1～2分間暖気運転を行います。暖気運転が終了し、スロットルレバーを低速回転側から高速回転側へ操作すると、チョークレバーは自動的に『全開』になります。

(2) 再始動（エンジンが暖まっている場合）

- ①運転停止直後に再始動するときは、チョークレバーを『全開』にして始動します。始動しない場合は、エンジンが冷えている場合の始動法を始めてから行ってください。

重要

- リコイルスタータのロープは、いっばいに引ききらないでください。
- 引いたロープを手離さないで、静かにもとに戻してください。

(3) 初期吸水作業

作業開始前や薬液補充時には、ポンプ吸水作業が必要です。

- ①必ず調圧弁ダイヤルを「始動：0」の状態にします。
- ②ボールコックを開きます。（薬液が飛散する恐れがありますので、噴口の向きには充分注意してください。）
- ③スロットルレバーを高速回転側に操作し、余水ホースまたは吐出ホースから薬液が出るまでポンプを運転します。薬液が出ることを確認したら、速やかに吐出ホースのボールコックを閉じます。

重要

- 30秒経ってもポンプが吸水しない（余水または吐出ホースから薬液が出ない）場合は、直ぐにエンジンを停止し、P.17の【9.故障と対策】を参照してください。

(4) 散布作業

- ①調圧弁ダイヤルは『始動：0』『除草：1』の位置で『カチッ』と止まります。散布作業時は「除草：1」に設定してください。
- ②エンジン回転が安定する位置にスロットルレバーを調整してください。
- ③ボールコックを開いて散布作業に入ります。

始動：0
圧力 0MPa
モータ始動、または吸入開始時



除草：1
圧力 約1.0MPa
除草剤等の低圧噴霧時



*上記圧力は、噴口を開じた状態での圧力です。噴霧時の圧力は、使用する噴口の吐出量によって変化しますので、ポンプ性能表を参照してください。

重要

- 遠心クラッチを使用しています。クラッチが滑るような低速回転での使用は避けてください。（クラッチが滑ると、薬液の吐出が不安定になります。）
- 作業中に噴霧を一時停止させる時は、ボールコックを閉じ、スロットルレバーを低速回転側に戻してポンプを停止してください。燃料の節約、エンジン、ポンプの耐久性向上に役立ちます。

警告

- 薬品の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- ハウス内での使用は人体に悪影響を及ぼす恐れがありますので、よく換気をしてください。
- 運転中および、停止直後のエンジン（マフラ等）は高温になっています。やけどをする恐れがありますので、不用意に触れないでください。



注意

- 水道、河川、水源地、池、沼、下水道などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 薬液を入れた状態で薬液タンクや車体を傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液が出ることがあります。薬液タンクや車体は傾けたり、落下させないでください。
- 作業中に噴口部を清掃または、交換する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、ボールcockを閉じ、必ず調圧弁ダイヤルを『始動：0』の位置に合わせて、噴口部を取り外してから行ってください。
- ホース類は、エンジン高温部（マフラー等）に触れないで、無理な曲げ、よじれ、折れ引っ張りがないよう注意して作業を行ってください。
- ホースの温度は、40℃以下で使用してください。40℃以上になりますと、耐圧性能が低下します。
- タンクに薬液を入れた状態での後輪の組み替えはしないでください。転倒の恐れがあります。
- 散布作業を中断し、移動または放置するときは、不用意な散布等を防止するため、エンジンを停止してください。また突然の噴霧防止のため、ボールcockは必ず閉じた状態にしてください。

(5) 停止

- ①ボールcockを閉じます。
- ②調圧弁ダイヤルを、『始動：0』の位置に合わせます。
- ③スロットルレバーを、『低速回転側』に戻します。
- ④エンジンストップボタンを押して、エンジンを止めます。

重要

- 使用中に薬液が無くなったときは、速やかにスロットルレバーを低速回転側に戻し、エンジンを停止してください。
- ポンプの空運転は、故障の原因になります。作業中、整備点検中は問わずに、30秒以上は行わないでください。

(6) 使用後のお手入れと保管

- ①薬液タンク内の残液を排出します。
- ②薬液タンクに清水を入れ、エンジンを運転して噴口より吐出させ、ポンプ、ホース、ノズルパイプ及び、噴口を洗浄します。清水が吐出しなくなったら、速やかにエンジンを停止します。



注意

- 作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。
- 余った薬液及び、機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水道に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- 前回使用した薬液が、薬液タンク、ホース、動噴、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を十分に洗い流してください。
- 使用後は本機を充分洗浄し、風雨や直射日光に当たらない、風通しの良い、凍結しない、子供の手の届かない、平坦な場所で保管してください。
- エンジンを止めても、ポンプ～ホースに圧力が残っていることがあります。この状態で接続部を取り外すと、薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、ボールcockを開いて、ポンプ～ホース内の圧力を抜いてください。

8

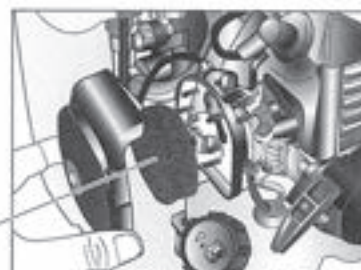
整備と長期保管

*日常のお手入れは、P.15【7-2：作業開始】『(6)お手入れと保管』をご覧ください。
整備に関してのご不明な点は、お買い求めの販売店にご相談ください。

(1) エアクリーナ

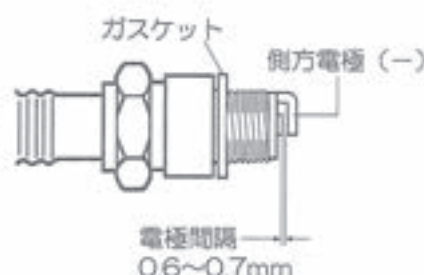
エアクリーナ内のスポンジが汚れていると、吸気が不安定となり、エンジンの性能が十分に発揮されません。時々、エアクリーナを外し、スポンジをガソリンまたは、洗油で洗浄し、固く絞ってから取り付けてください。

スポンジ



(2) スパークプラグ

50時間の運転を目安に、スパークプラグの点検清掃を行ってください。ワイヤブラシ等でカーボン堆積物を除去し、電極間隔を0.6~0.7mmに調整します。著しい汚れ、欠損がある場合は、スパークプラグを新品に交換してください。指定スパークプラグは、チャンピオンCJ6Yもしくは相当品(NGK BPM7A等)です。



(3) 配管

- 注意** ●タンク、ホース、接続部分に、ヒビ、割れ、漏れがないか確認します。異常がある場合は、速やかに交換してください。

(4) ポンプ内部のシール類

2年の使用を目安に、ポンプ内部のシール類の交換をお勧めいたします。シール類の交換については、お買い求めの販売店にご相談ください。
(補修パーツとして、ポンプパッキンセットが用意されています。)

(5) 長期保管

長期間(60日以上)に渡って本機を使用しないときは、次の事項を実施してください。

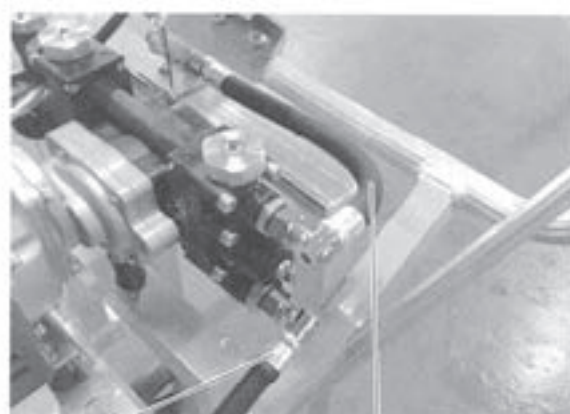
重要

- 薬液タンクに清水を入れ、エンジンを運転して、ポンプやホースを洗浄してください。
- 冬期間の凍結防止のため、余水ホースと吐出ホース及び、吸水口ホースをポンプから外して、エンジンを運転し、完全に水抜きを行ってください。保管時は、上記ホースは外しておいてください。
- 燃料タンクの残留燃料を、完全に抜き取ります。燃料タンクを空にした後、プライミングポンプを数回押して、キャブレタ内の燃料も抜いてください。
- スパークプラグを外し、スパークプラグ孔から、4~5滴のエンジンオイルをシリンダに流し込みます。スパークプラグを付け、リコイルスタータを2~3度引いてオイルをシリンダ内に行き渡らせます。
- プラスチック部品は、直射日光にさらされると、著しく強度が低下する事があります。また、注意表示ラベルも変色したり、はげやすくなったりしますので、保管には充分注意してください。

- 注意** ●本体、エンジン、ポンプの外部を洗浄し、十分に乾燥させてからカバー等を掛け、屋内の直射日光が当たらず、風通しのよい、子供の手の届かない場所に保管してください。



余水ホース



吸水ホース

吐出ホース

9-1: ポンプ

現 象	原 因	対 策
吸水しない	タンクに薬液がない	薬液を補給する
	吸入弁、吐出弁にゴミが詰まっている	※
	ポンプ内部のシール類が摩耗または、損傷	※
	吸水ホースの詰まり	吸水ホースを外し、洗浄する
	吸水ホースの接続部のゆるみ	吸水ホースの接続部を締め直す
圧力があがらない または、安定しない	ポンプの回転数が低い	エンジンの回転数を上げる
	遠心クラッチのスリップ	※
	調圧弁の詰まり、または、摩耗、傷	※
	吸入弁、吐出弁にゴミが詰まっている	※
噴霧状態が悪い	ポンプ内部のシール類が摩耗または、損傷	※
	圧力が上がらない	前述参照
	噴板穴の摩耗	噴板を新品に交換する
	噴口が不適切	ポンプ性能に合った噴口を使用する
液漏れ	ポンプ内部のシール類が摩耗または、損傷	※

ポンプ内部のシール類に関しては、補修パーツ（ポンプパッキンセット）が用意されています。
お買い求めの販売店にご相談ください。

9-2: エンジン始動不能、または始動困難

現 象	原 因	対 策
キャブレタまでガソリンが来ていない	燃料タンクに燃料がない	燃料を給油する
	プライミングしていない	プライミングポンプを4～5回押す
	燃料チューブの詰まり	燃料チューブの清掃、曲がりを矯正する
	燃料タンクキャップの通気穴の詰まり	燃料タンクキャップを清掃する
スパークプラグに火花が飛ばない	スパークプラグの不良	スパークプラグを新品と交換する
	スパークプラグが汚れている	スパークプラグをワイヤブラシ等で清掃する
	スパークプラグの電極間隔が不適	スパークプラグの電極間隔を0.6～0.7mmに調整する
	スパークプラグキャップ不良、または、スパークプラグコード断線	※
	点火装置不良	※
爆発の兆候がない	チョークの開きすぎ	チョークを閉じて始動する
	キャブレタの詰まり、または調整不良	※
スパークプラグが濡れている	チョークの開き過ぎ	スパークプラグを乾燥させ、チョーク全開で再始動する
その他	キャブレタのオーバーフロー	※
	マフラーの詰まり	※
	燃料、オイルの不適切	規定の燃料、オイルを使用する

9-3: エンジンの回転不調、または出力不足

現 象	原 因	対 策
エンジンが異常に加熱する	燃料不適切	規定の燃料を使用する
	冷却不足	冷却風通路、シリンダフィンを清掃する
	スパークプラグ不良	清掃、電極間隔の調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する
	燃焼室にカーボンが堆積している	※
スパークプラグに飛ぶ火花が弱い	スパークプラグ不良	清掃、電極間隔調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する
吸、排気系の不具合	エアクリーナが汚れている	エアクリーナを清掃する
	キャブレタの詰まり、調整不良	※
	マフラの詰まり	※

9-4: エンジン運転中に停止する

現 象	原 因	対 策
運転中、急停止する	ピストンの焼き付き	※
	スパークプラグの短絡	スパークプラグを清掃、電極間隔の調整をする
エンジン回転が次第に下がり、やがて停止する	燃料切れ、または、不足	燃料を給油する
	キャブレタの詰まり、調整不良	※
	燃料内異物混入	新しい燃料と交換する
エンジン回転が急激に上がり停止する	燃料切れ、または不足	燃料を給油する

9-5: エンジン停止が困難

現 象	原 因	対 策
エンジンストップボタンを押してもエンジンが停止しない	エンジンストップボタンのアース不良	配線の点検、交換をする
	スパークプラグ先端部の赤熱	スパークプラグの清掃、電極間隔の調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する
	ディーゼリング	※

※印の不具合対策に関しては、お買い求めの販売店にご相談ください。
その他、不明な点は、販売店にご相談ください。

製品保証書 (大切に保管してください)

この度は弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
弊社では、本製品を末永くご使用いただくため、保証業務を行っております。

1. 本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたのですが、万一保証期間内に、
注意ラベル、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、
商品に本保証書を添えて、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. 保証期間内でも次のような場合は有料修理になります。
 - ・ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、又は損傷。
 - ・火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障、又は損傷。
 - ・消耗部品（パッキン、Oリング等）の損耗交換時の部品代及び修理代。
 - ・保管状態が適当でない場合の故障、又は損傷。
 - ・本保証書のご提示がない場合。
 - ・本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を弊社の承認を得ることなく修正した場合。
3. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※本保証書に記載された内容のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するもので、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理等についてのご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および、その後の安全活動のためにご利用させていただく事がございますのでご了承ください。

型 式
(MODEL)

EP-20WAD1

製造番号

保証期間

お買上げ 年 月 日より
1年間（但し、消耗品は除く）

お 客 様

フリガナ

お名前

ご住所 〒

TEL

取 扱 販 売 店

店名/住所/電話

修理メモ



株式会社 麻 場

本社/〒381-8530 長野市北長池1443-2

TEL : 026-244-1317

URL : <https://www.asaba-mfg.com>